

「公共工事コスト削減対策に関する新行動指針」

【施策名：(1)工事コストの削減 ④技術開発】

ブロック式離岸堤から有脚式離岸堤の活用によるコスト削減(駿河海岸)

工事名：平成18年度 富士海岸堀川離岸堤工事

概要：従来のコンクリートブロックを使用した離岸堤から鋼管杭を使用した有脚式離岸堤の整備により、コスト削減を図る。

効果

①水深-7.5mの位置に据えることからブロック式の場合、ブロックが大量に必要となるため、鋼管杭を使用した有脚式の方が安価であり、コスト削減が図れる。

②有脚式はメンテナンスフリーであるため、設置後の維持費もコスト削減が図れる。

■有脚式離岸堤整備による工事費を1,000百万円から861百万円に削減。

(削減額 139百万円、削減率 13.9%)

